



HAPPY NEW YEAR



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします！

新しい一年が始まりましたがいかがお過ごしでしょうか。今年の干支は馬ですね。馬は昔から人や物を乗せ遠くに運ぶ存在でした。そのため“願いを運ぶ存在”として古くから伝わっており、縁起がいい動物と言われています。また、後ろを振り返らず常に前に向かって進んでいく馬の姿から、何かに挑戦するのにぴったりな一年です。

松村歯科長岡診療所、まつむら第二歯科は、未就学児のお子さまはもちろん、小学生のお子さまもお預かり可能です。保育室で遊びたいお子さま、一人で待つのが不安なお子さま、ぜひお気軽にご相談ください♪今年もたくさんのお子さまと過ごせるのを楽しみにしています！



～子どもの“なぜ？どうして？”は自立への一歩～

2 歳から 3 歳くらいのお子さまとの関わりの中で「せんせいこれなに？」「なんで〇〇なの？」と色々な事に興味を持ち聞いてくれるお子さまがたくさんいます。こちらが思いつかないような視点からの疑問に、保育士 N 自身感心し、考えさせられることがたくさんあります。

この「なぜ？」「どうして？」には脳や認知能力の発達と深く関係しています。様々な出来事に興味関心がわく時期には個人差がありますが、一般的には言葉が増え始める 2 歳半ごろから始まり、3～4 歳ごろにピークを迎えると言われています。特に好奇心や思考力が高まる 3～4 歳は脳の成長が著しく、認知能力が急速に上がっていきます。頭に浮かんだ疑問を言葉にして相手に伝えることができるようになってくるため「なぜ？」「どうして？」が生まれていきます。そして疑問を持ち、自分が知らないものや物事の仕組みを理解していく中で、生きていくための知識を身に付けていくのだそうです。この時期は「なんで？」「どうして？」と聞く他にもいくつかパターンがあります。

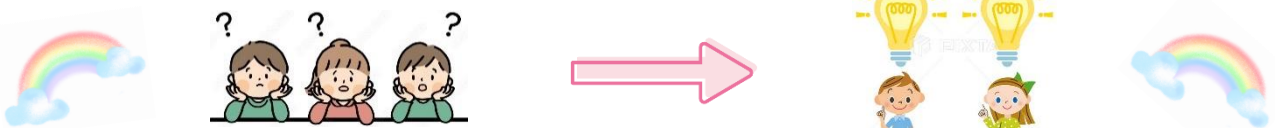
◎「これなに？」「どうやってやるの？」など物の名前ややり方を知りたがる

保育を利用してくださっているお子さまの中にも、ママごとの食べ物をかごから出すと一つ一つ手に取り「これなに？」「これは？」と聞いてくれるかわいらしい姿も見られます。初めて見たものや今まで気にしていなかったものなど自分の身の回りを理解していく事で新たな言葉や知識を身に付けていきます。

◎好きなもの、ことへの探求

自分の好きなキャラクターや乗り物など興味のある特定のものへの知識を次々と吸収していきます。実際にも、新幹線の名前を「これは〇〇で～」と教えてくれたり、好きなアニメのキャラクターやその人物の特徴までスラスラ～と教えてくれたりするお子さまも多く、その知識量や学習意欲に驚かされるばかりです。

この時期は子どもにとって自立に向けた第一歩で、多くの事を吸収していく時期です。子どもからの質問にも様々な種類があると思いますが、中には大人も答えが分からない質問もあると思います。そのような時は素直に「分からないなあ」と答え、時間があれば一緒に調べてみるのも楽しいですね♪また、あえて「なんでだと思う？」と聞き返してみることで子どもの発想力が豊かになったり、大人も新しい発見があったりと面白いかもしれません！



節分の鬼にはどんな意味がある??

節分と聞くといろいろな思い浮かべるものがあるかと思いますが、その一つに鬼が挙げられます。鬼は隠(おん・おぬ)が語源と言われており、この世のものではない、見えない存在という意味があります。人の力を超えるもの、人に災いをもたらすものとされています。鬼の色は 5 色あり、それぞれに意味があります。五蓋(ごがい)という5つの煩惱が由来となっており、人間の心を5つの色で表しています。

赤鬼

欲望や渴望など強い欲望を表す、すべての悪の対象。
赤鬼に豆をぶつけると、自分の中の悪い心を取り除かれる
と言われている。



青鬼

悪意や憎しみ、怒りなどを表す。青鬼に豆をぶつくと、
貧相で欲深い心の表われを取り除き、福德に恵まれると
言われている。

黄鬼

心の動揺や後悔を表す。黄鬼に豆をぶつくと過去の後
悔から解放され公平な判断が出来るようになると言われ
ている。



緑鬼

倦怠、眠気、不健康を表す。緑鬼に豆をぶつくと、健康
で規則正しい生活を心掛けることが出来ると言われている。

黒鬼

疑心暗鬼を表す。黒鬼に豆をぶつけることで、卑しい気持
ちを追い払い平穏な心を願えると言われている。



2026年の恵方は**南南東**です。ぜひ心の中に自分のやっつけたい鬼を思い浮かべながら節分を楽しみましょう!



咳エチケットを身につけよう



インフルエンザやコロナウイルス、風邪等まだまだ気を付けて過ごしていきたいですね。そこで身につけたいのが咳エチケットです。飛沫はなかなか目に見えないからこそ分かりづらいことも多いですが、咳やくしゃみをするとき1~2メートルほど飛ぶと言われています。くしゃみや咳をするときは、バイ菌が遠くまで飛ばないように肘や口で手を覆ってすること、そのあとはなるべく早く手を洗ってバイ菌をやっつけることを大人が実際に手本を見せながら繰り返し伝えていくことで子どももできるようになっていきます♪

